太田　祐介

一、新型コロナウイルスワクチン接種
二、アフターコロナ、ウィズコロナに向けた取組み
三、令和3年度 町政運営方針と機構改革後の経過

新型コロナウイルスワクチン接種

問 ワクチンの種類は指定できないとなっているが、そもそもどちらが入ってくるのか。

答 ファイザー社製、モデルナ社製の両方で、数量や時期も確定していない。

問 これまでとは異なるものを接種する場合の事前説明は。

答 今後の本町へのワクチン供給見込みを踏まえて、必要な情報提供、説明を行ってまいりたい。

アフターコロナ、ウィズコロナに向けた取組み

問 ワクチンパスポートの発行について

答 現行制度では海外渡航用で紙媒体にて発行している（その後、スマホで国内・海外向けの接種証明書アプリができました）。

問 町主催の行事の開催について問う。

答 子育て関係の取組みや社会教育関係の取組みから再開していっている。大きな行事については状況を見極めながら検討していく。

介護保険事業所連絡会は4月以降中止が続いている状況である。町内事業所の意向を踏まえながら、開催できるよう働きかけをしていきたい。

令和3年度町政運営方針と機構改革後の経過

問 商工会や観光協会との連携が一つの部署では負担が大きいと考える。改革前の観光文化課に戻す考えはないか。

答 柔軟で機動的な組織の実現をめざしており、業務量に応じた人員配置が実現できていくものと認識している。

問 「道の駅」を中心とした町内への観光客の誘導の取組みは。

答 高度産業化プロジェクトとして、観光協会の店舗との連携を図っていく。

問 能勢の郷の進ちょくは。

答 コロナ禍でまだ民間への指定管理は困難と考える。ただ、過去の災害により被害を受けた部分があるので、運用方法を今一度検討する必要があると考える。

一般質問

平田　要

豊中高校能勢分校の「のせ里山ファミリー」（下宿受入先家庭）＋α（プラスアルファ）

問 令和3年度から「のせ里山ファミリー」（下宿受入先家庭）事業が開始された。現状について問う。

答 本年度3名の生徒が本制度を利用して2軒の里山ファミリーに下宿している。生徒が下宿先家庭の生活になじむよう、受け入れ家庭と状況の確認を行い、必要に応じて保護者との連絡調整を行っている。

問 令和4年度の里山留学希望者に対して、「のせ里山ファミリー」受け入れ先の状況について問う。

答 現在、下宿生受け入れの里山ファミリーと令和4年度から新規で受け入れ予定の里山ファミリーの交流の場を持つ等、新規受け入れ家庭における不安や疑問の解消に努めている。現在登録から令和4年度は4人になる。

問 令和4年度以降の新たな「のせ里山ファミリー」に向けた取組みを問う。

答 広報・ホームページ・SNS、町の公式LINEを活用し制度の周知と受け入れの拡大に努めている。

問 隠岐の島の島前高校では地域おこし協力隊が頑張っている。能勢分校と行政、教育委員会と地域・里山ファミリーをコーディネートする制度が出来ないか問う。

答 その活用も視野に入れて、調整をしている。

問 町営住宅を活用したシェアハウス制度や旧小学校跡の里山留学寮の考えはないとのことである。下宿先以外のシェアハウスについて問う。

答 町が整備する考えはないが、どの様に支援できるか取組んでいく。

問 「のせ里山ファミリー」制度から今後の町の考えを問う。

答 町としては教育委員会と町長部局も含めて高校存続について鋭意努力をしている。今後もその努力は続けていく。議会も含めて存続になるように共に努力をしていきたい。